

河合地区

河合の蕎麦と地域のつながりで健康増進を

福井市北部に広がる農村地帯である河合地区では、11・12月の8町内で開かれるデイホームにおいて、河合で育て採れたそばを使って蕎麦の賞味会を行っています。

当日の朝、そば愛好会の方が蕎麦を打ち、民生委員・福祉委員が茹でて盛り付けし、参加者に食してもらっています。皆さん毎年楽しみにしていて、蕎麦会はいつもの人数で盛況に行われます。



木田地区

みんなで力を合わせて地域支え合いマップづくり

木田地区は、人口が増加傾向にあります。比較的若年層の多い地域ではありませんが、最近が高齢化率が20%を超えてきています。

地域のつながりの希薄化などによる、高齢者等の孤立や日常生活の不安をなくし、誰もが安心して暮らせるまちづくりのために、地域住民との連携・協力は言うまでもないことです。とりわけ福祉委員と民生児童委員との連携・協力は必要不可欠です。

そこで、福祉委員と民生児童委員との情報共有の場として、「地域支え合いマップづくり」合同研修会を開催しました。

市社協の担当者から、「支え合いマップ」の目的についてお話をいただき、用意した住宅地図を見ながら、一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、その他気がかりな世帯に、色シールを貼っていきましました。

作業をしながら、対象者についてお互いが知っている情報を交換することで、自分が出来る範囲で気を配ることが見守りにつながることを学びました。また、委員が交代することを考えると、定期的、持続的に研



修会を開催することの必要性を痛感しました。

木田地区の誰もが安心して暮らしていけるよう、福祉委員と民生児童委員が互いに力を合わせていくことが大切だと確認できた研修会でした。

木田地区社会福祉協議会

河合地区社会福祉協議会

会長 北川 幸秀

◆ 次回は国見地区と啓蒙地区を紹介します